

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901217		
法人名	有限会社 グループホーム東光		
事業所名	グループホーム「東光」		
所在地	北海道旭川市東光10条1丁目1番8号 (電話) 0166-32-8071		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年11月25日	評価確定日	平成21年12月11日

【情報提供票より】(平成21年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年3月26日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤8人, 非常勤9人, 常勤換算	12.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	19,500~25,500円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	450円	昼食	450円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり		1,400円	

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	0名	要介護2	7名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 86.72歳	最低	76歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	林医院・中島病院・くにもと医院・藤田歯科・はらだ病院・佐野病院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内住宅街に開設7年を迎える2ユニットのグループホームです。ホーム内は明るく清潔感が漂い、玄関に入ってすぐに事業所の理念と理念を達成するための職員一人ひとりの目標が掲示され、家族や来訪者にその取り組みが理解されるような工夫も行なわれています。また、中庭には、家族会の協力を得て畑を作り、トマトや茄子、ジャガイモなどの野菜が作られ利用者の楽しみごとになっていたり、ホーム主催の夏祭りでは、近隣住民への回覧で参加を呼びかけるなど地域との交流にも取り組んでいます。毎月発行される「東光だより」では、一人ひとりの利用者ごとの心身の状況、認知症の変化、健康状態等を詳細に報告されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、特段の改善課題は挙げられていませんでした。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行なわれ、新たな気づきや具体的な改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果は、家族会や運営推進会議で報告され取り組み状況について話し合われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され主な議題は 利用者状況について 夏祭りの実施について 今後のホーム主催行事予定について インフルエンザ予防接種について 次回開催運営推進会議について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に「意見箱」を設置して家族や来訪者が苦情、意見等言い表す機会を設けています。また、日常的に家族の来訪も多く要望や不安な点などの話し合いや健康状態や日常生活の様子など情報提供され、そこでの意見を運営に反映させる取り組みが行なわれています。利用料の支払いについても毎月持参戴き家族との絆を大切にしています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 事業所周辺のゴミステーションや周囲の清掃や町内会行事への参加、ホーム主催の「夏祭り」を町内会の回覧板で参加を呼びかけたり、地元の人々との連携に努めています。また、日常生活を通じて近隣への散歩や買物など地域との交流に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして事業所独自の理念を作り上げている。		特筆すべき点として、理念達成のために職員一人ひとりの目標を明示して、家族や来訪者に分かりやすく掲示している。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念達成のために職員一人ひとり目標を明確にして、その実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所周辺のゴミステーションや周囲の清掃や町内会行事への参加、ホーム主催の「夏祭り」を町内会の回覧板で参加を呼びかけたり、地元の人々との連携に努めている。また、日常生活を通じて近隣への散歩や買物など地域との交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行なわれ、新たな気づきや具体的な改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果は、家族会や運営推進会議で報告され取り組み状況について話し合われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催され、その内容について議事録が市担当者に報告されている。委員は、家族会代表、町内会役員、民生委員、法人役員及び管理者・職員で構成され、評価への取り組み状況等について具体的に意見交換されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、運営推進会議の内容について議事録を市担当者に報告している。また、市や包括支援センター主催の研修会参加等でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常的に家族の来訪も多く要望や不安な点などの話し合いや健康状態や日常生活の様子など情報提供されている。また、毎月発行される「東光だより」で一人ひとりの利用者ごとの心身の状況、健康状態等詳細に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に「意見箱」を設置して家族や来訪者が苦情、意見等言い表す機会を設けている。また、日常的に家族の来訪も多く要望や不安な点などの話し合いや健康状態や日常生活の様子など情報提供され、そこでの意見を運営に反映させる取り組みが行なわれている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く安定している。また、管理者は職員の離職などで利用者にはダメージを与えないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡協議会や研究会などの外部研修参加で段階に応じた職員を育てる取り組みがされ、研修参加者の報告が行なわれている。また、在籍している看護師による看護の内部研修が実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や研究会で他施設との交流やホーム行事の相互訪問や情報交換が行なわれサービスの質を向上させる取り組みが行なわれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、畑作業や調理、散歩や買物、寿司などの外食やドライブ等一緒に過ごしながら支えあう関係を築いている。また、花フェスタや音楽大行進、男山酒造見学等戸外に出かける機会も多く作っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式を利用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握し、ホーム行事や町内行事参加、散歩や買い物、畑作業など支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見やセンター方式を取り入れた具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行ない計画的に見直しが行なわれている。また、利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行なわれている。		特筆すべき点として、介護記録の帳票が都度工夫され一目で分かる記入方法となっている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や往診、散歩や買い物への支援など柔軟に行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族等の希望を大切にし、利用者を良く知る看護職員と主治医との連携で気軽に相談できる体制が確保されている。また、整形病院や内科医師の往診など適切な医療を受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、医師、利用者・家族ともできるだけ早い段階から話し合いながら対応するよう職員間で共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した支援が取り組まれている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にして、入浴や畑作業、散歩や買物、食事の準備等本人の意向に沿った支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と一緒に食事の準備や後片付け等をしている。また、食欲は旺盛でした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回を目安に希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。また、入浴のリフトが設置され体の不自由な利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用して、一人ひとりの生活歴や力を活かしながらおやつ作りや畑で茄子などの野菜の栽培や収穫、外食等で楽しみごとや気晴らしの支援が行なわれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、近隣への散歩や買い物、花フェスタや音楽大行進、男山酒造見学等戸外に出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、身体拘束委員会で管理者、職員の共通の認識がある。また、日中は居室・玄関は、鍵をかけないケアを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会役員や近隣住民、運営推進会議の委員が参加して火災避難訓練や消火訓練が定期的 に実施されている。		今後は、緊急時の一時避難場所の確保の検討に期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養 バランスやカロリーについてもおおよそ把握 されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや不快な音、光 の強さは感じられない。また、廊下の壁には 風景や行事参加等の写真が飾られて落ち着いた 雰囲気が感じられる。また、共用空間で は、利用者が集い談笑や趣味など楽しんでいる 様子が伺えた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇 や使い慣れた家具、テレビなどの家電製品が 持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるよう 工夫をしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。